

牧之原市教育委員会 会議録

令和4年8月23日、牧之原市教育委員会が牧之原市役所相良庁舎会議室に招集された。

この委員会に付議するため、教育長の告示した議案は次のとおりである。

付議議案

- 報告第11号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について
- 報告第12号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- 議案第10号 牧之原市新しい学校づくり検討会設置要綱の制定について
- 議案第11号 牧之原市学校用地候補地選定委員会設置要綱の制定について
- 議案第12号 令和4年度牧之原市教育費補正予算（案）について

出席委員

1番	橋本 勝	事務局	教育文化部長	内山卓也
2番	澤田 衛		学校教育課長	杉田雅良
3番	吉住幸子		社会教育課長	永野智芳
4番	寺井ゆみ		スポーツ推進課長	大石昌秀
5番	池ヶ谷裕太		学校再編推進室長	水野敬子
			教育総務課長	佐々木悟
			教育総務課主幹	植田容子

開会時刻 午前9時30分 牧之原市役所相良庁舎会議室

教育長挨拶

今年の夏も、多くの方がコロナと猛暑で大変な思いをしていると思う。そうした中、子どもたちの夏休みは最終週を迎え、明日から順次学校が再開する。これまでの間、大きな事故や問題もなく過ごしているようで、多くの子どもたちが、夏休みならではの体験や学び、家族との思い出作りができていないか。地域の行事をはじめ、市が関係するイベント等で、市内の子どもたちと出会う場面が何度かあった。この後の報告にある各種行事へ参加した子どもたちの目は輝き、意欲的にいろんなことに挑戦していた。このパワーを二学期からの学校で発揮し、実りある学校生活を送ってほしい。

会議録署名人の決定（事務局より指名）

橋本教育長と池ヶ谷委員を指名

教育長報告

令和4年7月26日から8月22日までの主な行事について報告

議事の概要・議決事項

報告第 11 号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について

(事務局より説明)

4 件の申請について、質疑・意見なく承認された。

教育長 様々な団体等から後援名義の申請が提出されるが、申請者全ての実態を把握しているわけではない。過去どうだったか、どのような活動をしているか等、幅広く情報を集め許可を出すようにしたい。

報告第 12 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(事務局より説明)

1 世帯 1 名から申請があり、質疑・意見なく承認された。

議案第 10 号 牧之原市新しい学校づくり検討会設置要綱の制定について

(学校再編推進室長より説明)

質疑応答後、承認された。

- 教育委員 検討会に係るスケジュールを教えてください。
- 学校再編推進室長 秋くらいから始まり今年度 3 回、来年度 3 回程度、検討委員会を開催する予定。校地選定委員会で、候補地がある程度決まり次第、学校づくりの検討会に入っていくと考えている。検討内容は、コンセプトから始まり、場所が決まれば通学方法等、みなさんから意見をいただきながらこの検討会で議論していくという形にしたい。スケジュールは、改めて委員会のみなさんへお配りする。
- 教育委員 委員メンバーのみなさんには打診中か。
- 学校再編推進室長 打診中。自治会は区長、幼稚園・保育園、小学校・中学校の各保護者、PTA 代表は、学校から選出していただく。
- 教育委員 市内幼稚園・保育園・こども園の保護者代表だが、例えば PTA 会長は小学校 6 年生の保護者になる、もっと通う可能性がある子どもがいる保護者等、こちらで指定するのか。それとも学校に依頼したとき、その中で決めていくのか。
- 学校再編推進室長 学校側への依頼は、PTA 会長という言い方ではなく、今年度、来年度、策定する中で、なるべく同じ方にやっていただきたいため、その辺も考えていただき、学校にまかせるという形をお願いしている。
- 教育委員 小さい子がいた方がいいとかそのようなことはないか。
- 学校再編推進室長 具体的に小さいお子さんがいる方にしてくださいということではないが、6 年生の PTA 会長だと卒業してしまうこ

もあり、4年度、5年度の業務に関わっていただける方ということをお願いしている。

教育長 自治会もそうだが、役職でいくと年度をまたぐことになる。役が変わった場合、新しい方となるため、しっかりと次に引き継がれればいいが、そのあたりが課題となる。

教育委員 役職というより受けていただいた方に2年間は携わっていただくということによいか。

学校再編推進室長 そう考えているが、区により様々な事情があるため、おまかせするような形となる。

教育委員 会長だからということではなく、私が携わりたというような意思を持った方にやっていただきたいと思う。

教育委員 もう一度、内容を教えていただきたい。

学校再編推進室長 榛原と相良それぞれで検討委員会をやりたいと考えている。学校のコンセプトは、市で共通したものになると思う。校舎の配置、施設機能、通学方法等も検討していきたい。今年度、来年度で基本構想と基本計画を作っていく。先日、業者が決定したが、ある程度、業務委託をする。それとは別に、市民の意見を吸い上げるという意味で、行政側が検討会を設置し、例えば保護者に聞いた方がいいだろうという内容については、保護者でワークをしていただく。その他、先生方の意見を吸い上げ、それらを検討会でさらに検討していただき、市の基本計画の中に盛り込んでいく。

教育委員 別に、ワークをやるということか。

学校再編推進室長 別にワークを行う。

議案第11号 牧之原市学校用地候補地選定委員会設置要綱の制定について

(学校再編推進室長より説明)

質疑応答後、承認された。

教育委員 牧之原市学校用地候補地選定委員会の委員20人と、新しい学校づくり検討会の委員40人は、兼ねることになるのか。

学校再編推進室長 自治会関係者等は、兼ねることになる。

教育委員 候補地選定委員会で先に結論を出していくということか。

学校再編推進室長 そうなる。当初は基本構想、基本計画の中で、学校用地のことを検討する予定だったが、具体的な場所が出ていないと、具体的な学校づくりの検討ができないため、先に用地の候補地を検討し、それから学校づくりの検討会に入っていきたい。

教育委員 選定委員会で決定したことが、検討会でくつがえることは

- ないか。
- 教育文化部長 選定委員会では、教育委員会でいくつかの候補地を挙げているが、その中で、最も適切なところを提案してもらい、最終的には市が決める形となる。
- 教育委員 候補地選定委員会のスケジュールを教えてください。
- 学校再編推進室長 今月末頃に第1回選定委員会を開催したい。候補地に至るまでの経緯の説明とその候補地を視察していただき、その中で課題や疑問を出していただき、さらに検討していただく。その後、みなさんの意見がまとまればいいと考えている。2回目からは、相良地域、榛原地域を分けて検討していただき、学識経験者はどちらにも入っていただくことになる。
- 教育委員 相良地域、榛原地域、均等になるように人選されているのか。
- 学校再編推進室長 均等になるように人選している。
- 教育委員 場所を決めるというのは大きなことだと思うが、揉めることはないか。
- 教育文化部長 教育委員会で、校地選定する条件を決めている。そのエリアの中で、実現の可能性がある場所という絞られてくる。限定されたエリアの中で、設定条件も含め事前調査もしているため、ある程度集約できるのではないかと思う。ここと決めて出すわけではないため、議論していただければと思う。
- 教育長 委員のみなさんから様々な意見をいただきながら取り組みをして、意見がまとまれば、次の委員会に移っていく。計画通りに進まないとも想定がされるが、今年度、来年度の中で進めていきたい。
- 教育委員 候補地選定委員会等が設置され検討していくということを市民のみなさんに公にしていくのか。
- 学校再編推進室長 候補地選定委員会の開催については、市が所有している土地だけではなく、個人の所有している土地も含んだ候補地になっているため、開催日については周知していない。検討された内容については、どのように出すかは未定だが公表していきたい。
- 教育文化部長 学校づくり検討会は、開催を知らせる。選定委員会については、議会、教育委員のみなさんは傍聴可能だが、一般の方については、民有地に係る部分もあるため、広報していない。あくまでもこの選定委員会は、今ある候補地の中で、最もいい場所を提案してもらい、最終的に新しい学校用地は基本構想の中に記載され、それが正式な位置づけとなる。
- 教育長 委員が言うように、公にしないことで市民レベルからすると、いつの間にか決まっていたということにならないかと

ということなので、絞り込みまで行った次の段階では基本的に公開する。秘密の中でやるということではない。議会にはご理解いただきながら進めている。

教育委員 ナイーブな案件であるが、今は、SNSで情報が伝わってしまう時代。

教育長 当日配布の資料についても配慮しながら進めている。

教育文化部長 取り扱い注意のお願いはする。決定していないものが外に出してしまうことが心配。

教育委員 開催されるということは、市民としては知りたいと思う。どの程度知らせるのがいいのか難しい。

教育文化部長 設置要綱の議案についても、教育委員会の議案として出ている。設置されたことは秘密にしているわけではない。

教育委員 市民のみなさんがなぜ傍聴できないのか、正当な理由が説明できるので心配ないと思う。

教育文化部長 エリアは大体示している。そういう中で現実的に可能であり面積が取れる場所というと本当に限られている。議論してエリアが狭まってくるので、理解してもらうしかない。あくまでも候補地なので、具体的には地権者と話をしながらになる。

教育長 実際に委員会を開くにあたっての様々な配慮事項、慎重に行っていただきたいというご意見をいただいた。再度検討しながら、会議を進めていきたい。

議案第 12 号 牧之原市教育費補正予算（案）について

（教育総務課長より説明）

質疑・意見なく承認された。

（閉会時刻 正午）